

サッカー 通信



No. 11 2021/07/02

「じゃまじゃまサッカー5 3:2+キーパー」 6/25

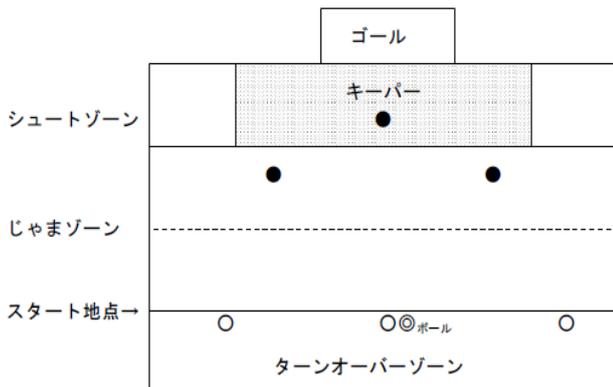
○攻防の切り替え

今回から新たに加わったことは、ディフェンスがボールを取ってスタート地点(ターンオーバーゾーン)にボールを運び、ディフェンスの得点(オフェンスの失点)になることです。ドリブルで上がっても良いし。味方がターンオーバーゾーンまで行って、ボールを押さえてもOKです。これは、攻防の切り替えの学習ですが、ボールを奪った時に、ボール保持者以外(キーパーを含めた2人)がどう動くかが重要になってきます。

見ていると、多くの場合はドリブルを使い、個人プレイで進めて行くことがほとんどでした。たまに、バックパスを使って、後ろにいるボール保持者(キーパー)が状況を捉え、2人のうちのどちらかに味方にパスするという場面が見られました。ボールを取ったらすぐに攻めるという意識付けをこれからもしてほしいです。

○シュートの意識付け

じゃまじゃまサッカー4から、じゃまゾーンが広がっており、シュートコースが見つければ積極的にシュートを打つ場面が見られるようになりました。また、サッカーゴールをこれまでは小さいものを使用していた、なかなかゴールが決まらないということから、前回から、大きいサッカーゴールを使うことにしました。これもシュート回数が増えた原因のようです。ディフェンスが前におらず、シュートコースを見つければ、積極的にシュートを行うようにしましょう。また、味方へのパスですが、見ていると、ボール保持者以外の2人が中央に寄ってくるので、ディフェンスも集まり、



中央付近が団子になっています。これでは、シュートが打てません。ドリブルで中央に寄るのは空間がある場合のみです。それ以外は、空間を広く使うように(パスの受け手は中央に寄らない)しましょう。

ディフェンスの役割はシュートコースを切ることです。ボールをとゴールを結ぶ線上に立ち、オフェンスをノーマークにさせないようにしましょう。そして、ボールを奪ったら、攻防の切り替えを行います。

みなさんの感想から 6/25

・じゃまじゃまサッカーは、ゴールが広がった分、ディフェンスが難しくなった。守る側も攻める側もしっかり最初はどうやっていくかを話しておくことが大切だと思った。攻める方はポジショニングに気をつけて、パスがもらいやすい所、ゴールがしやすい所を見つけることが大切だと思った。

・今日のじゃまじゃまサッカーでは、オフェンスが点を取れるのはもちろんだが、そこに加え、ディフェンスが点を取りに行けることも付加された。しかしオフェンスでもシュートを決めに行くことができず、パスを通していただけだったので、残り2回で決められるようにしていきたい。

・今日もじゃまじゃまサッカーをしました。私はディフェンスとしては良い仕事ができましたが、攻撃面で余りシュートが入らなかったのも、もっとパスをもらう位置を考えていきたいです。

・今日の講義では、グループ対抗のじゃまじゃまサッカーをしました。攻撃している時は、相手のいない所に自分が動いたり、守備と守備の間に抜け出したりすることが重要だと思った。守備の時は、ボールを持っていない人や、空いている空間を警戒して守ることが重要だと思ったので、次回からはそういうことを意識して動いていきたい。

・攻撃の面では、レパトリーを増やして、守備の間をつくことが大事だと思った。守備の面では、パスコースを切りつつ、シュートコースも切りつつ、焦らずに相手の動きの流れを見ることが大事だと思った。

・ディフェンスに得点と言うルールも増え、さらに攻防が激しくなりました。攻撃ではやる事は変わらず、シュートを意識できていました。枠に入らないことが多かったのが課題だと思いました。

・試合をしてみて、短い時間の中では、展開や早めのパスを重視して、組み立てていくことで、得点率が上がることがわかった。パスもらったら相手を抜くのではなく、積極的にシュートを打つ方が大事だと思った。そしたら得点につながっていきやすい。

・トラップミスが多かったので、パスが来たらボールを見ることに重点を置きたい。仲間に声をかけてもらってからコート(フィールド)の広さに気づいたため、次からは最初に確認することを心がけたい。キーパーは良く出来たが、フィールドでプレーするときは改善点が多かったので、次の課題にしたい。